

きらめき活動 2023

県民活動助成事業報告書



干潟の希少な生物を観察



口腔の健康を地域の高齢者に啓発



郷土の誇れる芸能を次世代へ継承



誰もが利用できる地域食堂を運営

公益財団法人

山口きらめき財団

YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION



はじめに

山口きらめき財団では、多くの皆様からいただいた寄付金等を活用し、団体の自立や地域課題の解決に取り組む県民活動団体に対する助成事業（助成金の交付）を実施しています。

この助成事業により、県下各地域の幅広い分野で世代を超えた多くの方々による熱意あふれる活発な活動が展開され、地域の活性化や地域の絆づくりに大きく貢献しています。

この冊子は、令和5年度に当財団が助成した46団体の活動をまとめたものです。

活動団体をはじめ、県民の皆様には是非ご覧いただき、今後の活動の参考として広くご活用いただければ幸いです。

令和7年（2025年）5月

「きらめき活動2023」について

- ・団体の代表者名、構成員数、問い合わせ先は、令和7年4月現在のものです
- ・「活動現場レポート」は、当財団職員が訪問した活動の現場の状況を掲載しています



目 次

2023年度 きらめき活動助成事業助成金交付団体



◆自立支援ゆめプログラム

ミモザプロジェクト	…	1
特定非営利活動法人 スマイルプロジェクト	…	2
堀内緑の町なみ保全会	…	3
こころのほしー完璧な親じゃなくていい。 もっと子どもの心の声を聴いてー	…	4
いわくにeスポーツ	…	5
特定非営利活動法人 NO BORDER	…	6
YAP フレンズ	…	7
ベジフルの友	…	8
みんな食堂アルトス	…	9

◆課題解決支援はなプログラム

Mint	…	10
遊びと育ちのインクルーシブ架け橋会	…	11
小郡図書館友の会鉢の子	…	12
ウツイミライ研究所	…	13
ワンフォーオール	…	14
特定非営利活動法人市民プロデュース	…	15
萩元気食の会	…	16
室積まちぐるみ協議会	…	17
青海島共和国	…	18
琴石グリーン村	…	19
柳井桜土手を守る会	…	20
柳井市白壁の町並みを守る会	…	21
山ロジビエサミット	…	22

稲光「笹踊り」保存会	…	23
北高夢ロード実行委員会	…	24
夾竹桃の会	…	25
周防千鳥太鼓保存会	…	26
OHaGi	…	27
市民劇団キラリ☆シ	…	28
岩国特別演奏会実行委員会	…	29
長門郷土文化研究会	…	30
柳井縞の会	…	31
周南市安田の糸あやつり人形芝居保 存会	…	32
宇部市地球温暖化対策ネットワーク	…	33
東岐波里海再生の会	…	34
特定非営利活動法人 もりのこえん	…	35
ドリームスクール実行委員会	…	36
屋代島さとうみネットワーク	…	37
YGK柳井減災普及研究会	…	38
特定非営利活動法人 あっと	…	39
チャイルドサポートwith	…	40
おひさまカフェ	…	41
やないしらかべ『絆』ねっとわーく	…	42
有帆竹灯会	…	43
猫幸の家	…	44

◆文化芸術支援つむぎプログラム

ローディング・エレファント	…	45
一般社団法人 YMA山口ミュージックアカデミー	…	46

団体名 ミモザプロジェクト (下関市)

代表者名	なかむらみゆ	団体の目的
構成員数	5人	女性が元気なまちは街も元気!を合言葉に、国際女性デーの趣旨に賛同し女性活躍推進の場づくり等に関する活動を行うことにより、街を元気にする
設立	2023年2月	
問い合わせ先	nakamuramiyu33@gmail.com	

事業名 街角ミモザプロジェクト

事業の目的

- 国際女性デー(3月8日)に関連するイベントを通して女性のエンパワーメントとジェンダーの平等について学ぶ機会をつくる

事業の内容

- 国際女性デーに合わせて「街角ミモザプロジェクト」を開催

開催日	3月8日(金)～10日(日)	開催場所	大丸下関店	参加者	200人
内容	- 会場(正面玄関やイベント会場)にミモザ(国際女性デーの象徴)を飾り啓発 - 楽団の演奏、シャボン玉、手品等のパフォーマンス - 女性が自分の夢を宣言できる「ドリームボード」の作成 - キャリアコンサルタントによる自己理解を深めるワークショップ、各方面で活躍している女性達によるトーク等 - 併せて海峡ゆめタワー、中央消防署、はい!からっと横丁等の主要施設をミモザ色にライトアップ				

事業の成果

- ボランティアスタッフとして関わった一般の方に、「国際女性デー」の啓発や女性に関する問題を自分事として取り組んでもらえる機会を提供できた
- 地元の高校生が問題解決(生理用品購入が困難な学生に向けての支援)に向けて募金活動を行うきっかけづくりにつながった
- 女性活躍推進として先進的な女性の事例を聞き、意見交換などをする中で、様々な年代の人々の交流を図ることができた

活動現場レポート

「街角ミモザプロジェクト」

日時：3月9日(土) 10:00～16:00/場所：大丸下関店(下関市)

- ◆この日の会場には国際女性デーのシンボル花「ミモザ」が華やかに飾られ、訪れる方をお出迎え。トークショーやワークショップ、雑貨などの販売、募金活動、活動紹介など様々な企画が行われていました。
- ◆訪問した時間にはキャリアコンサルタントの篠田幸氏による、カードゲームで楽しく自己理解を深めるワークショップが行われており、参加者は自分らしい良い人生の選択ができるヒントをゲーム感覚で学ばれていました。
- ◆「マイストーリー 私の一步」と題して、様々な分野(美容師やライター、舞踏家等)で活躍されている4人の女性が、今に至るまでのストーリーをお話しされる場もあり、女性が生き生きと力を発揮できる社会づくりや啓発の重要性を感じました。



▲会場はミモザの花に包まれていました

団体名 特定非営利活動法人 スマイル・プロジェクト (山口市)

代表者名	藤江 義高	団体の目的 ・ 山口県の振興、環境保全に貢献するとともに、災害時には救援活動を行うことにより、広く地域の発展及び環境保全に寄与する
構成員数	12人	
設立	2020年9月	
問い合わせ先	fujie@smg-ct.com	

事業名 羽ばたけ！ドローン飛行体験会

事業の目的

- ドローンの操縦体験会でドローンに触れる機会を通じて子どもたちに職業選択の幅を広げてもらうとともに、中山間地域の高齢者にもドローンの有用性を知ってもらう

事業の内容

- ドローン(4台)や操縦体験用ケージ、イベント用の椅子やテーブル、のぼりなどを購入
○県内のイベントでの体験会の開催

開催日	11月5日(日)	開催場所	道の駅 仁保の郷	参加者	200人
内容	・ 「第51回 仁保大農業まつり」の一角で、フライトゲージを設置し、ゲージ内でドローン操縦を体験するコーナーを設置。ドローンに触れて興味をもってもらう場とした ・ 子どもを中心に多くの方の参加があった				

事業の成果

- 多くの子どもたちに興味を持ってもらえ、将来の職業選択の一つとしてのきっかけづくりになれた
○地域の方にも、ドローンの有用性をしっかりアピールでき、今後地域の活性化につなげたいとの声をいただいた
○来年度以降も今回購入した機材を使用して、イベント参加や学校訪問などを行い、積極的に啓発していきたい

活動の写真



世代を問わず興味津々



楽しく操縦体験



子どもでも操縦可能

団体名 堀内緑の町なみ保全会 (萩市)

代表者名	松浦 正行	団体の目的
構成員数	13人	堀内地区の「世界遺産認定及び国指定の史跡」、国選定の「重要伝統的建築物群保全地区」並びに市指定「歴史的景観保全地区」内の景観保全に努める
設立	2021年5月	
問い合わせ先	hagi-uchida@yahoo.jp	

事業名 緑の町なみ保全事業

事業の目的

- 萩市堀内地区は、ユネスコ世界遺産に指定されているが、空き家や住人の高齢化により生垣の剪定や除草が困難なケースが増加しているため、ボランティアによる剪定や除草を行い、住民に安全で快適な生活環境、観光客にも快適な景観を提供する

事業の内容

- 町なみ保全事業

開催回数	月2～12回 延べ68回／年	開催場所	伝建地区の建物、家屋、町筋、外堀周辺	参加者	会員中心に 延べ294人
内容	町筋に面した生垣や樹木の剪定や枝打ち、除草剤の散布、草刈り、公園の清掃作業、竹林整備等を実施				

事業の成果

- 枝葉の剪定や空き家、公園、文化財施設の除草などにより、快適な生活環境、防犯、交通安全にも資することができた
- 伝統的な町なみの歴史的、観光的価値の維持向上にも貢献できた
- 作業を通して、住民の暮らしに役立つ喜びを体感し、町づくりを考える住民のチームワークが形成されてきた

活動現場レポート

鍵曲付近の景観整備

日時：6月7日（水）9：00～12：00／場所：堀内地区鍵曲周辺（萩市）

- ◆萩市堀内地区は「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されていますが、近年空き家が増え、中には全く手入れがされていない箇所もあるとのこと。観光客が多く遊覧する地域ながら、草木が伸びて道の見通しが悪くなっている等、事故につながる危険性もあり、当会の活動は地域にとってなくてはならないものとなっています。
- ◆この日は、萩市堀内の口羽家（萩藩寄組士の住宅で主屋と表門が国の重要文化財に指定されている）住宅付近にある空き家の道に面した生垣の剪定と草刈りが行われました。
- ◆会員5人は朝9時に集合。脚立を建てて電動のヘッジトリマーで伸び放題の生垣を剪定する人と、生垣内の空き家となっている住宅の草を刈る人に分かれて作業を開始。厳しい日差しの中、休憩をとりながら午前中いっぱい作業を続けられました。
- ◆活動の様子はyoutubeにもアップされています。大変な作業ですが、皆さんが和気藹々と活動されていたのが印象的でした。



炎天下の中での作業

団体名

こころのほし～完璧な親じゃなくていい。もっと子どもの心の声を聴いて～
(山口市)

代表者名	坂田 美紀	団体の目的
構成員数	16人	子どもやその保護者からの話を傾聴し寄り添うことで、子育ての不安や悩み、子どもたちの心を見守り支え、子どもの自立に向けた支援を目指す
設立	2022年4月	
問い合わせ先	candypeko1975@gmail.com	

事業名

こころのほし
～完璧な親じゃなくていい。もっと子どもの心の声を聴いて～

事業の目的

- イベントや上映会などを通じて、大人は子どもの声を聴くこと、子どもたちには自分の声を聴くことの大切さを知ってもらい、つまづいた子どもたちに手を差し伸べる人が必ずいるという心の基盤を育む

事業の内容

○家族の心をつなぐ 親子料理教室

開催日	8月3日(木)	開催場所	山口合同ガスひまわり館	参加者	親子14組
内容	- 講師:watonaru調理技能士 増見聖子氏 - スタミナ丼、夏野菜のピクルス、やみつきオクラ等を講師指導のもと親子で調理				

○ママのこころの遊園地

開催日	9月3日(日)	開催場所	山口市市民活動センターさぼらんて	参加者	200人
内容	子育てに関連する市民活動団体との協働で、パネル出展やワークショップ、相談会などで気軽に子育て中の母親が交流できる場を設置				

○こころのほし上映会

開催日	2月4日(日)	開催場所	小郡地域交流センター	参加者	94人
内容	「記憶2」(少年院のドキュメンタリー)「ママのおなかで笑っていたよ」(体内記憶をテーマにしたドキュメンタリー)の2本を鑑賞し、問題行動や非行、親から子、子から親へ気持ちを伝えることについて考えた				

事業の成果

- 子どもの行動には、親など、周りの環境による可能性があることに気づいてもらえ、自分を振り返るきっかけとしてもらった
- 今回の活動を通して、こころのほしの活動を知ってもらうことができ、学生や一般の方にもボランティアで参加いただき、達成感を共有することができた。今後の活動にも協力を仰ぎやすくなった

活動現場レポート

第1回ママのこころの遊園地

日時：9月3日(水) 10:00～16:00/場所：さぼらんて(山口市)

- ◆仕事や家事、子育てなど、毎日頑張っているお母さんを応援するため、家族で楽しめるワークショップや、市内の子育て支援団体を紹介したり、相談できるイベントを開催されました。
- ◆スタート直後から沢山の家族で賑わい、会場のあちこちで皆さんが笑顔で交流されている様子が伺えました。参加した子ども達もワークショップで楽しんでいました。



団体名 いわくにeスポーツ (岩国市)

代表者名	松本 紫乃	団体の目的
構成員数	5人	「eスポーツのプロになりたい子」から「興味があるけど一歩を踏み出せない子」まで誰もがゲームを通して親睦を深め、自分に自信を持ち、社会参加のきっかけとする - 参加する子どもたち、親の気持ちに寄り添い、お互いの理解につながるよう支援する
設立	2023年1月	
問い合わせ先	kosajitosaji@gmail.com	

事業名 eスポーツ体験事業～子どもの可能性を引き出そう！

事業の目的

- eスポーツを通じて、子どもたちの自己肯定感を引き出すと同時に、親同士の交流や情報交換を行うことで、親子の相互理解を深める
- 活動を継続することで、子どもの社会性を育てる

事業の内容

- eスポーツ体験会を開催

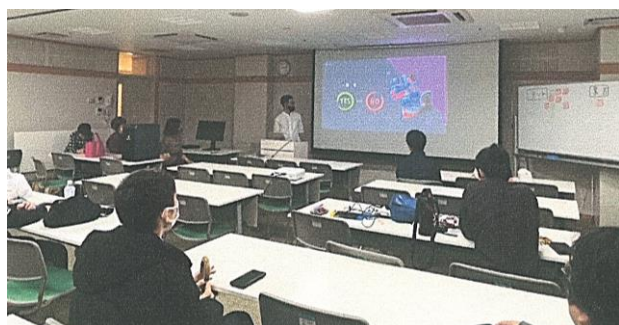
開催日	① 4月29日(土) ② 6月18日(日) ③ 8月19日(土) ④ 10月28日(土) ⑤ 12月10日(日) ⑥ 3月23日(土)	開催場所	①～⑥とも 岩国市民文化会館	参加者	① 9人 ② 11人 ③ 10人 ④ 10人 ⑤ 10人 ⑥ 14人
内容	・①・②・④・⑤・eスポーツのプロプレイヤーを講師にeスポーツの体験や体験談やノウハウ(視線の配り方や体の動かし方等)を聞いたり、皆で一つのゲームに取り組む体験を行った ・③ゲームで姿勢が悪くならないよう、ストレッチを学ぶ講座を開講 ・⑥ゲームリテラシーについて学び、ゲームで不快だったことについて付箋で書き出し共有した				

事業の成果

- eスポーツを通じてゲームに対する子どもの気持ちや親の気持ちを共有することができた
- 講師や医療関係者の的確なアドバイスを受けることでチームワークの大切さや身体のケアについても重要であることが学べ、子どもたちの自主性やコミュニケーション能力の向上が見られた

活動の写真

ゲームリテラシーについて学ぶ



感想や日頃の思いを書き出して共有



eスポーツ体験会

団体名 特定非営利活動法人**NO BORDER** (光市)

代表者名	松本 奈津美	団体の目的
構成員数	167人	子どもや障がいのある人達を中心に、より多く広い世代や環境に対して、イベントなど個人や団体がつながる取組を促進する事業を行い、子どもたちの平等な教育環境とボーダーレスに向けた意識づくりに寄与する
設立	2020年8月	
問い合わせ先	https://www.kodomira.com/no-border/	

事業名 可能性育成・自己発信事業

事業の目的

- 差別意識を持たず、それぞれの可能性を見つけ活かし認めあえる社会実現への貢献
- 先進国、途上国を問わず、年齢、性別、障がいの有無、人種などに基づく不平等をなくし、それぞれの持つ才能をそれに見合う経済対価に変え、未来を担う子どもたちが尊厳をもって手にできる仕事を生み出す

事業の内容

- ダンス公演会「ONE～ひとりから、ひとつに～」の開催

開催日	3月23日(土)	開催場所	光市民ホール 大ホール	参加者	180人
内容	名称: “子ども達の明るい未来に向かって 想いmovement” ステージパフォーマンス 「ONE～ひとりから、ひとつに～」 キッズダンスとともに、障がいを持った子どもたちによるステージや手話を踊りに組み込んだ「手話ダンス」を披露				

- イベント開催にあたっては、子どもたちを中心に数回会議を開催し、方向性や誰に何を伝え訴求・発信していくのかを協議、確認しながら準備を進めた。月に1回から2回、手話ダンスの練習とミーティングを行った

事業の成果

- 「自分たちにできることは何か」「何のために手話ダンスをするのか」「生涯ダンスメンバーとともに作ることの意義」を考えながら定例の練習やミーティングを行うことで子どもたちや親の意識の向上、成長を感じることができた。
- 振付や表現としての「手話の活用」といった表層レベルから手話の意味、内容を自ら調べ共有するなど興味深度が深まった。
- 「何のために手話ダンスをするのか」についても、ボーダレスな意思の疎通が可能となることで色々な可能性をひろげることができることをメンバーで理解を深めることができた。

活動の写真


手話ダンス練習風景



ダンス公演の様子



団体名 YAPフレンズ (山陽小野田市)

代表者名	岡田 政広	団体の目的
構成員数	11人	山陽小野田、宇部地域をフィールドに、子どもから大人までが楽しいと感じてもらえるようなイベントを地域の店舗や団体等と連携しながら開催し、まちに笑顔と元気を届ける
設立	2022年10月	
問い合わせ先	ibf.sg.yap@gmail.com	

事業名 地域活性化による子どもたちの居場所作り事業

事業の目的

○地域の活性化や貧困家庭の子育て支援、地域住民同士のつながりづくり

事業の内容

○マルシェイベント事業

開催回数	4月2日～翌年3月10日までの間で37回	開催場所	ナチュラルグリーンホテル、龍遊館、地域密着型介護事業所、山口東京理科大等	参加者	延べ5,500人
内容	毎月第4日曜日に山陽小野田、宇部地区等でハンドメイド、キッチンカー、ミニコンサート、作品展示、フードドライブなどでイベントを開催し、地域活性化につなげた				

○プレゼント企画事業

実施日	12月7日(木)	実施場所	児童養護施設「小野田陽光園」
内容	提供いただける企業や団体等からプレゼントを集め、「クリスマスプレゼント」として包装し施設に寄贈		

○フードドライブ事業・・・各イベントにフードポストやポップを設置し、フードバンクの活動を啓発

事業の成果

- 備品購入、広告宣伝、会場設営などがスムーズにでき、順調なスタートを切ることができた
- 毎月、イベントを開催したことにより地域の方々や出店者など支援者を増やすことができた
- フードバンク活動では山陽小野田市の方々に周知し、フードドライブ活動にも支援いただけるようになった

活動現場レポート

「YAPフレンズin住吉」

日時：7月23日(土) 10:00～15:00／場所：龍遊館(山陽小野田市)

- ◆今回のイベントは、定期的に行われているマルシェで、ハンドメイド作家さんやキッチンカーによる販売等に加えて、フードバンク山口と連携したフードパントリー(受け渡し)やフードドライブ、自衛隊の車両展示・制服試着等、一日を通して様々な催しが行われていました。
- ◆「地域の小さなイベント」ですが、「ふれあいと交流の場」「遊んだり様々な体験ができる場」であり、当会が目指している「まちに笑顔と元気を届ける」ものになりつつあると感じました。
- ◆人脈づくりや情報収集を積極的に行われてイベントの開催に活かされており、今後の活動の継続や拡大に期待が持てる訪問でした。



マルシェの様子

団体名 ベジフルの友 (周南市)

代表者名	有吉 明美	団体の目的
構成員数	15人	栄養の摂り過ぎや偏った食事、食の安全性が問われる中、その大切さを学び、食事バランスの改善に寄与すること、そして、食を取り巻く環境などの食育活動を行い、広く伝える
設立	2023年3月	
問い合わせ先	43gioia@gmail.com	

事業名 野菜ソムリエによる食育推進事業

事業の目的

○料理教室の開催やイベントへの参加により、食育の重要性について広く伝える

事業の内容

○託児付き野菜ソムリエの料理教室の開催

開催日	6月28日(水)	開催場所	桜木市民センター	参加者	4人
内容	「たまねぎ」を軸に食育について学ぶ				

○桜木フェスタ&文化祭への参加

開催日	10月14(土)・15日(日)	開催場所	桜木小学校
内容	料理教室の風景の展示、半体験型のブース販売を実施		

事業の成果

- 野菜ソムリエの料理教室は、施設の工事により、1回だけの開催であったが、参加者からは、「食」に対する強い興味を感じた。特に若い世代の方は、野菜本来の持つ自然な甘みを体感し、香りにも健康効果があるなど、素材についての知識をもっていただけた
- 若いお母さんには、託児を設けたことで、料理に集中することができ、リフレッシュしてもらえた

活動の写真



料理教室の様子



完成!



フェスタ出展の様子

団体名 みんな食堂アルトス (周南市)

代表者名	住山 芳子	団体の目的
構成員数	15人	コロナ禍で子どもたちや高齢者がますます困窮している状況の中、「誰一人残される人の無いよう」にすることを目標に、ボランティアとしてこの地域に安全と潤いと多世代交流をもたらすために地域に貢献する
設立	2021年4月	
問い合わせ先	yoshikosan34@gmail.com	

事業名 みんな食堂アルトス

事業の目的

- 子どもたちの居心地の良い場所として「誰ひとり取り残すことのないように」、外国籍を含む、あらゆる世代の人が地域の子どもたちを中心につながり、多国籍交流地点として地域の絆を育む

事業の内容

- 毎月1回、第3土曜日に地域食堂を開催（助成事業としては全10回開催／総参加者713人／会場：カトリック下松教会）
- 活動に賛同いただいている店舗やフードバンクからフードロス規格外野菜やお菓子、食料品を提供いただき、食事にも使用するとともに会場内で無料配布
- 食堂の開催と同時に、参加者を対象としたワークショップ（血管年齢測定）やミニイベント（ミニコンサート、じゃんけんゲーム、エッグハント、餅つきなど）を開催し、多世代が楽しく交流できる場を提供
- 大学教授による、大学生や高校生のボランティアの指導で子どもたちが興味を持つこと、興味を持たせるための考える力を指導してもらった
- イベントでのバザーを行い、近隣への周知を実施

事業の成果

- ボランティアとして参加してくれている大学生や高校生は、子どもたちとの遊びなどの関わりを通して成長が見られた。また、規格外野菜の集荷を手伝うことで、フードロスの実情なども知ってもらうことができた
- 当初からボランティアとして活動している大学生が成長し、スタッフとして活躍するようになった
- 今年度から、イベントでバザーを行い、近隣への周知をした結果、地域とのつながり、また、提供者も子ども食堂に関心をもってもらえた
- 規格外野菜や食品の配布等で地域の食品ライフラインとして浸透してきている

活動の写真



▲ 大学生もボランティア参加
◀ 家族連れや友達同士で楽しく会食

団体名 Mint (下関市)

代表者名	柴田 久美	団体の目的
構成員数	11人	年齢問わず健康に関わる問題の改善や解決をはかり個々に寄り添いサポートする
設立	2022年2月	
問い合わせ先	come-care2011@outlook.jp	

事業名 みんなで考える お口の健康

事業の目的

- 健康に関わる知識や意識の向上、歯科疾患の予防や口腔機能の獲得・保持等の問題解決
- 遠出が困難な高齢者のもとに足を運び講話を通してお口の健康を周知する

事業の内容

- 歯科衛生士による「健口イベント」

開催日	7月2日(日)	開催場所	旧三豊小学校体育館	参加者	30人
内容	- 中山間地域などの行政の届きにくい方を対象に、歯科衛生士の資格を持つメンバーが、歯科保健指導や口の体操等の口腔の健康に関する情報を届けた - 講話・健口体操、○×クイズ、替え歌等を実施				

○出前講座

毎月第3月曜日または第3木曜日に豊田地区の高齢者や乳幼児期の親子の集まり等で開催(13回/参加総数563人) お口のお話、健口体操、口腔機能測定、質疑応答、アンケート

- ゆめ花マルシェへの参加(10月7日/きらら博記念公園/3000人) 歯科相談の実施や展示

事業の成果

- 地域サロンの参加者(60代~90代)は、オーラルフレイル・フレイル予防歯周病・虫歯など、口腔から全身健康に関わる知識や意識の向上、健康寿命へのモチベーションが上がった
- 個別相談の時間を増やしたことで問題の改善、不安解消につなげることができた

活動現場レポート 健口講座 日時：11月16日(木) 9:30~/場所：大河内集会所(下関市豊田町)

- ◆この日は、下関市豊田町の高齢者グループ「百合野イキイキ会」の会員(70~80代の女性)を対象とした健口に関する出前講座が行われました。
- ◆初めに、歯科衛生士の資格を持つ会員から、口腔ケアの大切さをスライドを使ってわかりやすく説明された後、参加者の皆さんは手作りのストローを使って肺活量を鍛えるゲームに取り組みました。
- ◆今年最後の講座ということで、みなさんに楽しんで参加してもらえよう、雰囲気はクリスマスモードにして実施。参加者同士で楽しくおしゃべりしながら和気あいあいとお口の健康の大切さについて考える場となりました。
- ◆会では歯科に関するだけでなく、体調不良や介護に対する保険や行政の支援など、健康全般に関する簡単なお悩み相談にも乗っておられるとのこと。中山間地域では都市部と比べて情報を得る機会が少ないので、当会の活動を通してそれが少しでも解消されることが期待されます。



▲肺活量を鍛えるゲームに挑戦

団体名 遊びと育ちのインクルーシブ架け橋会 (岩国市)

代表者名	橋本 尚理	団体の目的
構成員数	81人	障がいのある子どもが、それぞれの特性に応じ、自らの力を生き生きと発揮し、安心して遊び育つことができる環境づくり
設立	2021年8月	
問い合わせ先	hashimoto_naomichi@tiara.ocn.ne.jp	

事業名 第5回「ふくろう公園インクルーシブDAY」

事業の目的

- ボランティアが見守る中で、障がいのある子どもたちに遊具で遊んだり、車いすフェンシングや打楽器手作り工作などをしたりして、終日周りの目を気にすることなく安心して遊んでもらい、市民にインクルーシブ社会の実現に向けての意識改革を図る

事業の内容

- 第5回「ふくろう公園インクルーシブDAY」を開催

開催日	10月8日(日)	開催場所	岩国市愛宕山ふくろう公園	参加者	842人
内容	- 岩国市近郊及び県東部の障がいのある子どもとその家族を対象に、子どもたちが自由に遊べる場を提供 - 自衛隊、海兵隊、総合支援学校教員、障がい児施設、看護学生、中高生など一般ボランティア235人が参加(今回は中学生30人も初参加) - あいにくの悪天候であったが、大型遊具やステージイベント、体験コーナー、ワークショップなどを一日を通して楽しんでもらえた				

事業の成果

- 小雨で肌寒い中での開催とはなったが、多くの参加があり、子どもたちや保護者の「外で遊ぶ」ことへの欲求の強さを感じた
- 多様な主体(自衛隊や海兵隊、学校やパラスポーツ団体など)を巻き込んだ充実したプログラムを提供できた
- 「障がいあります」キーホルダーを配布したところ、予想以上の反響があったことから、「マタニティマーク」のように周知できないか今後検討していきたい

【特記事項】

- 普通の遊具とインクルーシブ遊具が混在する公園では、誰もがそれぞれの個性障がいに応じて安心して遊ぶという「最終的にあるべき姿」を作ることはまだ難しいとのこと、地道にこのようなイベントを通して啓発を続け、一般の方に障がいに対する理解や認知を高めていきたいとのこと

活動の写真

▼様々な方がボランティア参加

▼みなさん伸び伸びと楽しめました



団体名 小郡図書館友の会鉢の子 (山口市)

代表者名	田澤 明子	団体の目的
構成員数	25人	・ 小郡図書館が地域住民の文化・情報・交流の拠点として 発展・成長するよう支援する
設立	2009年11月	
問い合わせ先	dori-102@c-able.ne.jp	

事業名 紙芝居『小郡の人 葛原猪平のおはなし』事業

事業の目的

- 地域の子どもたちに、「葛原猪平」が活躍した歴史を楽しみながら学んでいただくことで、ふるさとを見直し、興味を持ったことに邁進し、学んだことを深めていろいろなことにチャレンジするきっかけを作る

事業の内容

- 日本の冷凍食品の生みの親 葛原猪平（山口市小郡出身）の生涯を紙芝居で作成
 - ・ タイトル「小郡の人 葛原猪平のおはなし 冷凍食品の生みの親」
 - ・ 仕様:B3 全11枚／編集:小郡図書館友の会鉢の子／作画:森永友世志さん
- 市内の小中学校、図書館に寄贈
- 小学校等（6箇所）へ出向いて、完成した紙芝居を実演
 - ・ 実演場所…小郡図書館、小郡総合支所地域振興課、小郡南小学校、小郡上郷小学校、小郡地区社会福祉協議会いきいきサロン代表者会議、小郡東津サロン

事業の成果

- チャレンジ精神あふれる葛原猪平を、山口の未来を創る子どもたちに紹介することができた子どもたちには、地域の偉人を知る機会ができ、図書館を使って調べることにもつながった紙芝居の実演後には、友達同士で話し合う姿も見られた
- 地域の集まりでは、高齢者にとって歴史を振り返り、思い出すきっかけとなった

活動現場レポート

朝のホームルームでの紙芝居上演

日時：3月4日（月）8：00～／場所：小郡上郷小学校（山口市）

- ◆ この日は、上郷小学校での紙芝居の実演が行われました。
- ◆ 5年生は社会科で地域のことについて学習することがあるそうで、郷土の偉人がどんな活躍をするのか、とてもワクワクしている様子が伺えました。
- ◆ 紙芝居が始まると、皆あっという間にお話しの世界に引き込まれ、日本の冷凍食品の生みの親、葛原猪平の波乱万丈な生涯に思いを馳せながら聞き入っていました。
- ◆ この日は5年生だけでしたが、紙芝居を聞いた小学校の校長先生から「他学年の子どもたちにも是非見てほしかった」との感想がありました。
- ◆ この日読み聞かせを行った中原さんは、葛原猪平の功績を地元でも知らない人が多いので、今後も紙芝居の実演や、紙芝居を使ったワークショップで積極的に普及啓発していきたいと話していました。



▲ 紙芝居の実演

団体名 ウツイミライ研究所 (下関市)

代表者名	幸野 春佳	団体の目的
構成員数	5人	地域の子どもの健全育成・移住者の受け入れを推進するとともに農業の担い手を育成することにより、地域交流の軸である子どもたちを支えることから中山間地域の振興・市全体の活性化につなげる
設立	2022年6月	
問い合わせ先	utsui.mirai@gmail.com	

事業名 内日村博覧会「内日中学校《ありがとう・はじめまして》」

事業の目的

- 内日小学校・中学校が一貫校として令和6年4月から新たなスタートを切るにあたり、地域が目指す方向性を明確化し共有するために、中学校舎の活用について考えるきっかけを作る
- 内日地区を愛する定住者や興味を持った移住者を増やすことを意識することで、将来的に児童・生徒数の増加につなげる

事業の内容

○うつつい探検の開催

開催日	①10月 7日(土) ② 1月20日(土) ③ 2月10日(土)	開催場所	①西音寺、銅鉦山跡等 ②内日中学校周辺 ③内日神社周辺	参加者	①29人 ②16人 ③25人
内容	①「歴史編」としてまちあるきを実施。地域住民、小中学校の先生、中学生、県外からも参加があり、学芸員、歴史ナビゲーターから解説を聞きながら歴史スポットを巡った ②③美術作家「きむらとしろうじんじん」氏と芸術的観点から地域の自然の美しさや昔から佇む建造物に対して興味を深めた				

○内日中学校舎お別れ会

開催日	2月24日(土)	開催場所	内日中学校	参加者	約400人
内容	・うつつい小中学校開校により役目を終える内日中学校舎で内日村博覧会として実施 ・一日を通して、音楽ライブや卒業生のスピーチ、在校生のパフォーマンス、もちまき、飲食バザーや卒業アルバムの展示、顔はめパネルなど様々な企画を実施				

事業の成果

- 内日地区の閉鎖的なイメージからの脱却を意識して1年間活動をし、地域住民と外部の方の接点を作ったことで地域の魅力を再認識でき、地域に自信をもって発信する礎を築くことができた
- お別れ会の開催に向けて地域と各団体が連携を密に図ったことで、地域住民間の距離感が縮まった

活動現場レポート 内日中学校舎お別れ会
2月24日(土) 10:00～／場所：内日中学校(下関市) お別れ会の様子

- ◆この日は令和6年4月の小中一貫教育校「うつつい小中学校」開校に伴って閉校となる内日中学校舎のお別れ会が開催されました。
- ◆会場は音楽ライブやスピーチ、「内日ソーラン」の披露、校歌合唱等で盛り上がり、写真や卒業アルバムの展示に見入る人や中学時代のエピソードや感謝の言葉をボードに書き込む姿も見られました。
- ◆生まれ育った地域を愛する気持ちや、それを地域の人に再認識してほしいと願う気持ちがこもった素敵なお別れ会となっていました。

